

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 豊中市立児童発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	23			
	2	職員の配置数は適切である	23			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	23		<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報をできるだけわかりやすく伝えるように設定しており、一人一人の特性を考えつつその都度変更している。 事業所内は利用児童の環境設定に合わせて工夫するようにしている。 食事への集中が向きづらく刺激に引っ張られることの多いご利用者には、パーテーションで区切った食事エリアを提供し、食事に集中が向きやすいようにしている。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	23		<ul style="list-style-type: none"> 掃除を役割分担し、清潔に保てるよう意識している。 療育後に消毒をし、毎日の掃除は欠かさず行っている。 療育前に整頓しお子さまが過ごしやすい心がけている。 	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	23		<ul style="list-style-type: none"> チームで療育の振り返りを行い、支援について話し合っている。 	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	23			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	23			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	23		<ul style="list-style-type: none"> 他機関からの見学やスーパーバイズの機会を多く設定し、業務改善につなげている。 	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	23		<ul style="list-style-type: none"> 職員は研修の機会が多くあり、全体研修も個人研修もよく参加している。 事業所内外で多岐にわたって様々な研修への参加を行っている。 	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	23		<ul style="list-style-type: none"> 保護者との面談を定期的に行っている。 児童発達支援計画作成のための会議を必ず開催している。 保護者の方のニーズを聴き取るため面談も支援計画作成前に行っている。 	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	23		<ul style="list-style-type: none"> 標準化されたアセスメントツールは適宜使用している。関係機関が行っている検査を参考にしたり行動面からのアセスメントを行っている。 	
	12	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	23			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	23			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	23		<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの場を多く持ち、立案している。 各児の活動のねらいをチームで話し合って日々の活動を立てている。 	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	23		<ul style="list-style-type: none"> 複数で確認している。 毎月毎にプログラムの打ち合わせ会議を実施している。 興味や発達に合わせて新たな活動を入れ、固定化しないようにしている。 毎月新たな設定遊びを設定している。 季節の遊びなども取り入れ、固定化しないように工夫されている。 	
適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	23		<ul style="list-style-type: none"> 私の所属は小集団なので、小集団に沿った狙いを主に作成していますが、お子さんに合わせて個別活動の機会を設けている。 	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	23		<ul style="list-style-type: none"> 毎日、療育後にふりかえりと翌日の内容、個人の設定あそびのねらいを確認している。 朝礼後その日の療育の流れについて職員で打ち合わせを行っている。 	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	23		<ul style="list-style-type: none"> 日々振り返りをして、情報を共有している。 クラスの職員全体に共有できるよう連絡ツールに話し合いの内容を記録し共有するようにしている。 療育後、その日の振り返りを行い、支援の検討、準備を行っている。 	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	23			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	23			
関係機関	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	23			<ul style="list-style-type: none"> 担当者会議について、引き続き担当職員が参画できるよう調整し、その情報を職員間で共有していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	23			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	21	2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に十分な聴き取りを行い、緊急時の対応を職員間で周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、関係機関と連携した支援を行っていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	22	1		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、関係機関と連携した支援を行っていきます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	22	1	・年度末に伺って、支援内容について共有している。 ・こども園の見学に同行した。 ・学校などへの共有ではなく、保護者が移行先で本人に合った工夫等伝えられるよう一緒にサポートブックの作成をしている。 ・移行支援として支援手帳を保護者とともに作成している。また、就園前に園への引継ぎを行っている。	・引き続き、園や学校との情報共有を進めています。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	21	2	・学校見学会や説明会に職員も同行し、情報共有を行っている。 ・学校などへの共有ではなく、保護者が移行先で本人に合った工夫等伝えられるよう一緒にサポートブックの作成をしている。 ・年度末に引き継ぎを行っている	・引き続き、園や学校との情報共有を進めています。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	22	1	・他施設から毎月SV助言を受け入れている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	12	11	・次年度の就園に向けて進路選択にあたり園見学や園庭開放への参加を保護者に積極的に推奨している。 ・交流会などはないが、遠足や所庭解放などで地域のお子さん達と関わる機会を作っている。 ・天気に左右されてしまう、季節による。 ・こども園の園庭開放へクラスの活動として行った。 ・園見学の同行を行いお子さんと保護者が安心して活動できるようにしています。 ・就園予定の園への見学など必要に応じて行っている。	・こども園見学や園庭開放への同行などでの交流の機会をととも大切であると考えています。今後も地域の公園や施設に出かけるなど自然な場面や所庭開放時の交流など、引き続き実施・検討を行ってまいります。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	15	8	・管理者が参加している。 ・必要に応じてつばみに相談や情報共有を行っている。 ・市と連携して情報共有を行っている。	・今後も市と連携し参加をしていきます。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	23			
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	23		・保護者講座を開き、ペアレントプログラムの内容を含めたお子さんへの関わり方について学ぶ機会を設けている。	・今後も家族支援プログラムについて職員間で共有し、支援に活かしていきます。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	23			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	23		・個別に計画書の同意を得る機会を設定している。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	23		・月1回の個別面談や、保護者の方向士でお話ができる会(職員も同席)を定期的に行っている。 ・親子通所で来てもらい相談と一緒に考える機会をもつことができるようにしている。 ・保護者の方からの相談に合わせて面談の機会を設け、助言や支援の検討を行っている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	23		・保護者向け講座・先輩保護者による研修を設定している。 ・YouTubeで講座の動画配信を行っている。 ・年長座談会を実施し悩みや情報を共有する機会を設定した。	
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	23		・定期的な面談に加え、日常的にコミュニケーションをとるよう心がけており、職員間でも共有・周知を徹底している ・保護者からの申し入れを複数の手段でできるようにしている(直接申し入れ・電話・メール・コードモン) ・クラス間での朝礼・終礼も実施及びグループチャットでの情報共有	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	23		・インスタグラムに療育の様子や職員が受けた研修について発信している ・クラスのおたよりなど、それぞれのクラスで配信している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	23		・個人名のあるものは、全てシュレッダー処理している。 ・個人ファイルの保管場所固定	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	23		・保護者の方によって理解しやすい形式を用いて伝達している。 ・具体物や写真、イラストなどを用いてわかりやすく伝えるように工夫している。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	16	7	・事業所内で行う行事が多いと思います。 ・所庭解放実施 ・いろいろな方が見学・実習に来られている。 ・市が行っている園庭解放で地域の方が自由に参加をしてもらっている。 ・OBさんを同窓会や勉強会などにお誘いして、利用が終わった方も招待する機会を作っている。	・事業所で実施している勉強会などにも地域の方も参加ができる機会などの検討を行ってまいります。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	23		・利用者の方と一緒に避難訓練を行っている。 ・各委員会を設けている。	
非 常 時 等 の 対 応	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	23		・月に1度避難訓練を実施している。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	23			
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	22	1	・毎月、アレルギー児に職員と保護者でアレルギー食品が入っていないかを確認している。 ・該当する子がいない。	・豊中市の書式に基づいて、アレルギー対応を実施しています。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	23		・その都度報告し共有している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	23			
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	23			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。